

- ◎：プレミアム商品券の10%の助成ではそろそろ限界ではないか、商工業者の活性化を考え地域に金が流れるシステムをやるとき、10%にこだわることは難しい。今後の展開として、一定の反省の中でどのように考えているのか。
- ▲：町民の皆さんがもっと利益を得られる形でこれに乗せられるか、事業者と検討した中で、皆さんの意見も聞きたい。
- ◎：ガーラの立木補償箇所はどこか。
- ▲：ガーラの下山コース内の工事に支障となる立木。
- ◎：旧湯沢高校の耐震調査の取り止めが、解体の予定からとあるが何時のことか。
- ▲：旧湯沢高校の取り壊しは、なるべく早く実施したいが、町民への説明の中で建設の方向が決まれば早い内に取り壊したい。何時とはいえない。
- ◎：インバウンドを推進する上で、新幹線を新潟空港まで延長するようJRに働きかけが必要だ。どう動いているか。
- ▲：JRが新潟空港まで伸ばせばこれに勝ることはないが、事が大きく沿線の自治体がどのような動きをしているか知り得ない。
・新潟県新幹線活性化同盟会でも同様な活動をしているようだ。
- ◎：ウォーキングの負担金5万円が町にとってのメリットは。川の駅の問題にも少しは力を入れられないか。
- ▲：来年の5月にウォーキングの大会を開きたいと考え、5万円の負担金で日本ウォーキング協会の公認コースを設定する必要があることから、協会に加盟する負担金である。初回が500人規模で中には温泉街の通るコースも考えている。
・川の駅の整備は今後とも資料収集を含め研究したい。
- ◎：小学校の整備の暖房機の購入は、従来型かペレット型のストーブか。
- ▲：従来型暖房機の故障品を買い換えたい。
- ◎：小中学校の介助員の賃金増の内訳は。
- ▲：当初介助員の賃金を6時間分としていたが、1時間延長して現場に合わせた。
- ◎：中学校管理費の中での遠距離通学費補助金増の内訳は。
- ▲：浅貝から新たに2名が増えたことによる。
- ◎：ALTの予算増の内訳は。
- ▲：派遣会社を通じて委託しているALTの方が教員住宅から民間のアパートに変わるための予算増。

平成21年度 特別会計補正予算

平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 賛成全員で可決

歳入歳出予算にそれぞれ1,049万4千円を追加し、予算総額を8,425万7千円とするもの。7月の賦課額の決定に伴う特別徴収保険料増150万円、普通徴収保険料増244万円、さらに保険料の軽減を補填する県からなどの繰入金601万円などの全てを広域連合に納付するための会計処理である。

平成21年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 賛成全員で可決

歳入歳出予算にそれぞれ217万9千円を追加し、総額を7億2,176万8千円とするもの。4月の人事異動による給与及び手当の調整である。

平成21年度病院事業会計補正予算（第2号） 賛成全員で可決

収益的支出の補正。4月の人事異動に伴う給与費の削減（185万6千円）と、電子カルテの消費税分精算のための支出増（93万円）である。

平成21年度下水道特別会計補正予算（第2号） 賛成全員で可決

総額に歳入歳出それぞれ70万円を追加し、歳入歳出予算の総額を11億2,032万5千円とするもの。マンションの接続分担金70万円の増収。

平成21年度水道事業会計補正予算（第2号） 賛成全員で可決

収益的収入に192万7千円増加し3億9,080万7千円とし、収益的支出は230万9千円増の4億104万6千円。資本金収入はマンションメーターの設置745万円5千円増で1,015万6千円とするもの。